

令和3年度 賛助会員名簿(敬称略)

ありがとうございました

〔個人会員〕

- 相澤 祐助 岡 正尚 斎藤 征史 滝川 泰弘 東 智子
相田 哲 岡田 義信 斎藤 正浩 武井 珠美 深川 光俊
青木 信樹 小川 和博 斎藤 良一 武田 真紀子 福島 佳奈
赤石 智美 小川 宏 酒井 邦夫 田崎 和之 藤森 勝也
秋葉 博 小熊 美智子 酒井 信治 田澤 聡 藤山 育郎
秋山 功 小野 和義 境原 悦子 田尻 正記 古海 英美子
味岡 洋一 小幡 明博 寒河江 豊 田中 一史 古川 恵理子
阿部 志郎 笠原 至 坂口 美津子 田中 勝治 星名 秋彦
阿部 博史 片岡 美那子 笹川 力 田中 利夫 星野 明子
阿部 道行 片桐 正則 佐々木 玲子 田中 一 細島 康宏
新井 啓 片桐 幹雄 佐藤 幸示 田中 政春 堀井 淳一
荒川 敬 勝井 豊 佐藤 進一 玉井 章広 本間 智子
井浦 佐敏 加藤 花恵 真田 雅好 田村 芳昭 本間 義章
五十嵐 茂義 加藤 晴久 佐野 正俊 弦巻 恭太 松浦 直人
五十嵐 智理 金井 秀樹 品田 英光 東后 康子 松田 由紀夫
池野 弘康 金子 弘 清水 浩 戸枝 哲郎 丸山 明則
石川 久雄 金子 真奈美 下條 文武 永井 博子 丸山 行夫
石附 由美子 金子 よう 神保 和男 中枝 智子 丸山 仁
和泉 徹 狩野 雅暉 新保 珠美 長尾 政之助 武藤 謙介
石動 政直 川嶋 禎之 鈴木 榮一 中川 邦夫 目良 恒
磯部 澄枝 儀同 政宏 鈴木 正司 中川 圭子 矢田 省吾
市川 健太郎 鯨岡 克法 鈴木 大地 中倉 五吉 山田 英夫
伊藤 正一 熊木 亮太 鈴木 孝幸 仲嶋 枝里 山田 光男
伊藤 善一 小飯塚 信仁 鈴木 忠二 中村 勉 山田 洋子
伊藤 雅章 小出 千秋 関田 悠満 中山 徹 山本 清司
伊藤 正広 甲田 豊 関根 綾希子 中山 尚子 山本 卓
井上 初男 小坂 正一 関根 理 中山 均 横山 知行
今井 昭雄 児玉 省二 関屋 啓太郎 梨本 篤 吉澤 和哉
岩浪 春輝 小林 勲 曾根 博仁 鍋谷 一義 吉澤 豊久
上林 旭 小林 隆 園田 裕久 成澤 林太郎 吉沢 浩志
内山 幸夫 小林 博英 高井 優治 成田 一衛 吉田 和清
江村 巖 小林 義昭 高木 顕 難波 彰司 吉田 寛子
遠藤 聡 小林 矩明 高塚 尚和 難波 秀道 和田 迪代
大竹 勝巳 小山 圭介 高橋 完明 西脇 京子 渡辺 和仁
大塚 旭 近藤 晋 高橋 姿 丹羽 正之 渡辺 静一
大原 峰夫 斎藤 明美 高橋 壮一郎 庭山 昌俊 渡辺 奈緒子
大矢 洋 齋藤 和英 高橋 史明 花野 政晴 渡邊 二夫
岡 俊幸 斎藤 恒行 高橋 龍一 早津 正文 渡辺 武

〔法人会員/医療機関〕

- アイ内科クリニック アイにじま耳鼻科医院
あがの市民病院 新津産科婦人科クリニック
糸魚川総合病院 西新潟中央病院
今井眼科医院 野々村眼科医院
上田眼科 はしもと眼科クリニック
内野整形外科クリニック 早川小児科クリニック
おおふち眼科 東新潟まやま眼科
大森内科医院 藤島医院
小千谷さくら病院 麓会
小千谷総合病院 舞平クリニック
小千谷総合病院十日町診療所 松浜病院
下越病院 三浦内科医院
柏崎総合医療センター 三島病院
片桐記念クリニック 村上総合病院
喜多町診療所 村上是まなす病院
黒川病院 山口医院
くろきクリニック 渡辺内科医院
小出耳鼻咽喉科
河渡病院
向陽メディカルクリニック
五泉中央病院
五泉六島クリニック
こばやし内科クリニック
こばりファミリークリニック
笹川医院
さど眼科
三条眼科
三条総合病院
山東第二医院
三之町病院
新発田駅前平田内科クリニック
上越総合病院
白根さいとう眼科
信楽園病院
信楽園病院附属有明診療所
すどう小児科クリニック
せき眼科医院
立川メディカルセンター
土田脳神経外科医院
豊栄病院
なおか医療生活協同組合
長岡市医師会
長岡赤十字病院
長岡中央総合病院
南部郷厚生病院
新潟医療センター
新潟県眼科医会
新潟市医師会
新潟市民病院
新潟青陵大学
新潟青陵大学短期大学部
新潟聖籠病院
新潟南病院

〔寄付金〕

- 丸山 明則 扇町皮膚科医院
宮島 衛 村上記念病院
目良 恒 長岡ライオンズクラブ
健進会 新潟白根ひまわり会
川野眼科 新潟県ライオンズアイバンク協議会
品田 章二 株式会社伊藤園
高井 和江 長岡中央会
高橋 知義 堀内医院 ソリューション株式会社
内藤 眞 舞平腎友会 株式会社ジャパンビバレッジ
野口 武実

Table with 4 columns: Category, Count, Amount, Total. Includes 個人会員 (217人, 885,500円), 法人会員 (医療機関) (70団体, 897,110円), 法人会員 (企業・団体) (34団体, 370,000円), 寄付金 (1,165,038円).

株式会社エヌ・エム・アイ様より500,000円、新潟県ライオンズアイバンク協議会様より200,000円のご寄付をいただきました。



賛助会員の皆様、寄付者の皆様には誌上をもって深く感謝申し上げます。



Relay For you

一臓器移植はあなたの意思をつなぎます 令和4年12月 第19号

新潟県臓器移植推進財団だより

発行：新潟県臓器移植推進財団 TEL.025-283-4880
新潟市中央区新光町4番地1
(新潟県福祉保健部健康づくり支援課内)
ホームページ http://www.niigata-ot.net/



ホームページ



グリーンリボンは臓器移植のシンボルマークです。

活動報告

「臓器移植フォーラム 2022in 上越」を開催しました (10月2日)

〔主催：新潟県、公益財団法人新潟県臓器移植推進財団、新潟県腎臓病患者友の会〕

より多くの人々に移植医療についての理解を深めてもらい臓器提供に関する意思表示をしていただくため、国では毎年10月を「臓器移植普及推進月間」と位置付けています。

今年は10月2日(日)に上越市の直江津ショッピングセンター・エルマールにて「臓器移植フォーラム 2022 in 上越」を開催しました。

FM-NIIGATA 77.5の特別番組「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植 シーズン R4」の公開録音を実施したほか、上越市出身のミュージシャン・齊藤ジョニーさんのミニライブを開催しました。



〔開会挨拶〕

新潟県腎臓病患者友の会 大竹勝巳会長よりご挨拶。臓器提供への幅広いご理解とご協力をお願いしました。



公開録音の前半では、佐藤さんからライオンズクラブによるアイバンクを支える活動などをご紹介いただきました。さらに、番組で事前に行った「臓器移植」に関するアンケートの結果を基に、秋山コーディネーターから日本や世界の移植医療に関するデータなどもご紹介しながら、移植医療の現状について考えました。



〔齊藤ジョニー ミニライブ〕

音楽ユニット「Goosehouse」のメンバーとして脚光を浴び、現在はソロや森山直太郎のライブサポートなどで活躍する齊藤さん。優しくも力強い歌声で会場を魅了しました。



〔公開録音〕

FM-NIIGATA 77.5で毎年10月に放送している「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植」。通算14年目を迎えた今年の「シーズンR4」は、ヤンさん(FM-NIIGATAパーソナリティー)とアッキー(新潟県臓器移植推進財団コーディネーター 秋山政人)の名コンビに加え、村井杏さん(FM-NIIGATAパーソナリティー)をアシスタントに迎えて放送。全5回のうち第3・4回目が公開録音での収録となりました。今回は新潟県仏教会の会長で、新潟県ライオンズアイバンク協議会 顧問を務める佐藤義尚さんと、新潟大学歯学総合病院 泌尿器科 助教の田崎正行さんをゲストにお迎えしました。



村井杏さん ヤンさん 佐藤義尚さん 田崎正行さん 秋山政人

〔ジャンケン大会〕

公開録音終了後には、来場者限定のジャンケン大会を開催。FM-NIIGATA オリジナルグッズや感染症予防グッズなどをプレゼントしました。



↑↑↑

FM-NIIGATA「ヤン&アッキーのど〜なの? 臓器移植」は、当財団ホームページの「番組バックナンバー」ページで聴くことができます。

寄稿

「臓器提供推進活動 —新潟県の歩みと現況について—」

新潟県臓器移植推進財団 常務理事
新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野
齋藤 和英



臓器移植医療においては、善意に基づいた臓器提供が必要ですが、わが国では欧米諸国、近年ではアジア諸国と比べてもその数が少ないことが課題でした。新潟県では全国に先駆けて臓器移植推進財団が中心となって、1999（平成11）年から病院啓発事業を、2001（平成13）年からはドナーアクションプログラムを開始し、国民一体となって臓器提供の普及啓発事業に取り組んできました。

市民公開講座、学校への出前授業、ラジオ番組などによる一般県民への移植医療・臓器提供の普及啓発活動を行う一方、県内の病院における体制整備と人材の育成を行ってきました。体制整備としては、臓器提供マニュアルの作成や、倫理委員会、虐待対応委員会の設置など、臓器提供に迅速かつ適切に対応できる院内環境の整備など。そして人材の育成については、特に救急医療を担当する部門の医師、看護師等のスタッフを中心に、臓器移植や臓器提供に関する専門的知識やスキルを習得・実践するための院内勉強会の定期的な開催を支援してきました。中でも、新潟県行政の強力な支援を背景に、新潟県知事からの委嘱状で任命される「院内コーディネーター」

制度を発足させ、県内各病院に100余名を配置し、施設におけるリーダーシップを担っていただくとともに、年2回の「院内コーディネーター研修会」を開催し、病院の垣根を越えた、県全体としての臓器提供体制の充実と人材の育成に努めてきました。

これらの地道な活動が実を結び、新潟県では1995（平成7）年から2022（令和4）年8月末に至る27年の間に、脳死下41名、心停止下57名、計98名の方から臓器のご提供をいただきました。2019（令和元）年には人口100万人あたりの臓器提供者数が4.5人と、国内で最多となりました。全国平均が1人にも満たないことを考えると、大変な数字であることがお分かりいただけると思います。最善の治療にも関わらずお亡くなりなる患者様、ご家族様の尊い意思を確実に抽出し、臓器提供で救われる患者様に命のバトンを引き継いでゆくための社会的なシステムのさらなる充実を、静かに、しかし着実に進めてまいりたいと思います。

皆様により一層のご理解、ご支援をよろしく申し上げます。

トピックス

令和4年度 臓器移植対策推進功労者に感謝状!

移植医療の普及啓発・治療向上への功績が認められ、厚生労働大臣から感謝状が授与されました。



新潟大学医学総合病院 眼科長
新潟大学大学院医学総合研究科
眼科学分野 教授
福地 健郎 医師（写真中央）



医療法人
立川メディカルセンター
立川総合病院

この度、厚生労働大臣より感謝状をいただきましたこと、大変光栄に思います。眼科における臓器移植の代表は角膜移植です。角膜移植が初めて行われたのは1905（明治38）年で、移植医療の先駆けでもあります。新潟大学眼科において代々引き継がれてきた角膜チームは新潟県内における角膜移植の普及と維持に尽力してきました。今回の感謝状はその代表としていただいたものと思っております。最近では、iPS細胞由来の角膜上皮、内皮を角膜移植のマテリアルとして使用されることが現実的なレベルまで来ており、すでに治験レベルで良好な成績が報告されています。今後の新たな展開が期待されます。一方で、コロナ感染の影響を受け、アイバンクへの登録数が減少、角膜移植数が減少、対象患者の待機期間が延長との記事が報道されていました。

角膜移植についてもポストコロナに向けて新たな体制構築を目指して行く必要があるように思います。引き続き皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

この度は、臓器移植についての感謝状をいただき、誠にありがとうございました。当院で取り組んでいる臓器移植推進の功績が評価され、大変光栄な事と喜んでおります。

当院では1985（昭和60）年から2009（平成21）年までに生体腎移植41例、献腎移植9例の手術実績があります。また、退院後のフォローアップを腎移植外来で行う体制が整い、さらに、県内で唯一のHLAセンター（※）が設置され、腎臓移植希望者の臓器移植ネットワーク登録を行っています。

また一方で、臓器提供にも積極的に取り組んでいます。現在まで10例の臓器提供をしてきました。多職種で構成される院内コーディネーターは現在6名おり、県の臓器移植コーディネーターと密に情報交換を取ることが可能です。

これを励みに、今後も病院全体で、患者さんの臓器移植治療に貢献していきたいと思っております。

※ドナーとレシピエントの適合性を検査することができる施設

データ

数字で見る臓器提供および移植の状況

●献腎提供者・献腎移植者・献腎待機者の状況

令和3年3月31日現在（人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	
献腎提供者	全国	97	96	99	111	65
	新潟	3	6	3	9	3
献腎移植者	全国	190	188	192	216	127
	新潟	4	8	2	9	1
献腎待機者	全国	12,828	12,449	12,150	12,505	13,163
	新潟	228	212	199	187	197

※日本臓器移植ネットワークホームページより集計
※献腎待機者については年末締め

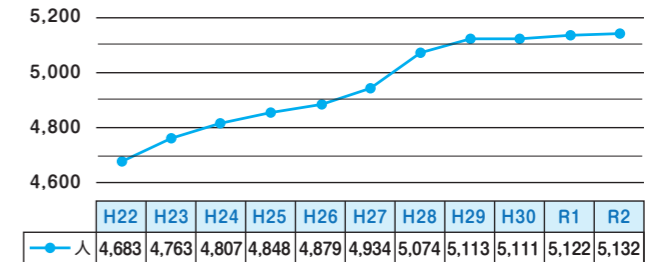
●新潟県の検眼登録者・献眼者・待機者の状況

令和3年3月31日現在（人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
献眼登録者	246	155	114	90	39
献眼者	8	10	4	12	5
献眼待機者	43	36	36	19	21

参照：新潟県「人工腎臓透析実施状況調査」

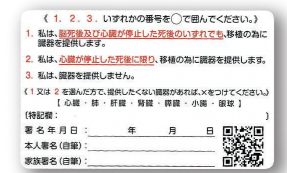
●新潟県の透析患者の状況



参照：新潟県「人工腎臓透析実施状況調査」

臓器提供の意思を表示しましょう

健康保険証や運転免許証、マイナンバーカードにも意思表示記入欄があります。臓器提供の意思表示にご協力ください。



公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 役員名簿 (令和4年6月1日現在)

- 理事長 成田 一衛 [新潟大学大学院医学総合研究科 腎・膠原病内科学（第二内科）教授]
- 副理事長 福地 健郎 [新潟大学大学院医学総合研究科 眼科学分野 教授]
- 常務理事 齋藤 和英 [新潟大学大学院医学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授]
- 理事 木下 義晶 [新潟大学大学院医学総合研究科 小児外科分野 教授]
塚田 芳久 [新潟県医師会 副会長]
吉澤 豊久 [新潟県眼科医会 会長]
青池 郁夫 [新潟県透析医会 会長]
鈴木 榮一 [魚沼基幹病院 病院長]
山口 征吾 [魚沼基幹病院 地域救急救命センター長]
宮本 豊博 [日本赤十字社 新潟県支部 事務局長]
佐藤 義尚 [新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事長]
大竹 勝巳 [新潟県腎臓病患者友の会 会長]
- 監事 石崎 修 [元新潟県三条地域振興局健康福祉環境部参事（医薬予防課長）]

- 評議員 牛木 辰男 [新潟大学 学長]
富田 善彦 [新潟県病院協会 会長]
松田 英伸 [新潟大学大学院医学総合研究科 眼科 講師]
高井 和江 [新潟県医師会 理事]
川崎 禎之 [長岡赤十字病院 院長]
斎藤 有子 [(公社)新潟県看護協会 会長]
村越 勝蔵 [新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 副理事長]
田中 納次 [新潟県学生農業協同組合連合会 代表理事 理事長]
森澤 真理 [新潟日報社 説読編集委員 室長]
田中 利夫 [日本文理高等学校 校長]
園田 裕久 [新潟県長岡保健所長]
田中 昌直 [新潟県市長会 事務局長]
渋谷 聡 [新潟県町村会 事務局長]
石田 芳英 [株式会社石匠工業 代表取締役 (新潟移植者の会)]
- 顧問 荒川 正昭 [新潟県福祉保健部参事]
高橋 公太 [新潟大学医学部名誉教授]



グリーンリボン
キャンペーンの天使
ハーティ

寄付型自動販売機の設置にご協力ください

飲料の売上の一部が団体の活動資金として寄付される自動販売機です。寄付金は、移植医療の普及啓発のために大切に活用します。



※画像はイメージ
寄付型自動販売機の設置に関するお問い合わせは…
特定非営利活動法人寄付型自動販売機普及協会
フリーダイヤル 0120-937-650 まで

- 寄付金の振込は自販機業者が行うので、**手間や費用は一切かかりません。**
 - 飲料1本あたりの**寄付金は任意に設定**できます。
 - 寄付金控除**の対象となります。
 - 設置・置き換えは無料**です。また、売上に応じて**販売手数料**をお受け取りいただけます。
- 企業のCSR活動や、個人の社会貢献活動の一環として、ぜひご検討ください。

財団の活動・運営にご協力ください

当財団では、一人でも多くの患者さんが移植を受けられるよう、県、市町村、患者団体等と連携し、臓器移植に関する知識の普及啓発等に取り組んでまいりました。

財団の活動は基本財産の運用益と皆様からの善意の賛助会費や寄付金で行っております。財団の安定的な活動・運営のため、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

賛助会加入 および 寄付の方法	賛助会費 (年会費)	法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円
	郵便振替 の場合	口座番号 00500-4-76919 公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団
銀行振込 の場合	第四北越銀行 新潟県庁支店 普通口座 237932 公益財団法人 新潟県臓器移植推進財団	

※当財団に賛助会費や寄付金を納められた方は、税額控除されます。領収書が必要な方はご連絡ください。